

## 令和5年度 第2回筑紫野市子ども・子育て会議 議事録

開催日時:令和6年2月 28 日(水) 19:00~

会 場:筑紫野市役所 504 会議室(5階)

出席委員(順不同): 大西委員長、染原委員、渡邊委員、鳥谷委員、花園委員、笠委員、  
樂満委員

欠席委員(順不同): 秦委員、船本委員、佐々木委員、瀧本委員

傍聴者:なし

### ■次第

1.開会

2.あいさつ

3.諮問

4.議題

1) 第3期筑紫野市子ども・子育て支援事業計画策定に係るアンケートについて

2) 小規模保育事業所の認可・確認について

5.その他

6.閉会

## 1. 開会

## 2. あいさつ

健康福祉部長 嘉村が行った。

## 3. 諮問

健康福祉部長・嘉村より大西委員長に諮問書を手渡した。

## 4. 議題

### 1) 第3期筑紫野市子ども・子育て支援事業計画策定に係るアンケートについて

#### ○事務局

資料③「第3期筑紫野市子ども・子育て支援計画の策定について」に沿って説明。

アンケートの速報値について報告。アンケートは無作為抽出した、乳幼児のいる世帯2000世帯、就学児童のいる世帯2000世帯、中学生・高校生を含む18歳以下の子どもがいる世帯2000世帯の計6000世帯に郵送。調査期間は1月6日～2月9日。回収率は乳幼児53.1%、就学児童55.6%、18歳以下42.7%で前回調査より向上。「『子ども条例』を知っていますか」「『子どもの権利救済委員』を知っていますか」との問いには「知らない」が増加。

#### ○大西委員長

筑紫野市の子どもの権利救済委員として関わっている。認知度が前回調査に比べてやや低くなっており、私自身も取り組まないといけないと感じた。数字で出てくると、計画策定に向けて具体的なアイデアが出てくると感じた。子ども食堂に関する質問は前回調査もあったのか。

#### ○事務局

前回はない。

#### ○大西委員長

子ども食堂を私もやっている。筑紫野市で子ども食堂は10か所になっているので、どのくらいの利用状況か関心がある。

○鳥谷委員

対象は 6000 世帯とのことだが、筑紫野市に何世帯あり、その何%に当たるのか確認したい。

○事務局

(延べ) およそ2万世帯が対象で、3割程度となる(延べ) 6000世帯に送っている。

○鳥谷委員

3割くらいに送れば全体が把握できるという根拠があるのか。

○事務局

第1回、第2回での調査世帯を 6000 世帯としており踏襲した。

○鳥谷委員

無作為抽出とのことだが、世帯所得を加味したアンケートはできないのか。

○事務局

難しいが、アンケートでは貧困に関する質問を設けている。

○鳥谷委員

もっと回収率が上がれば、より支援、よりよい計画策定につながっていくと思う。今後にかしてほしい。

○大西委員長

収入に応じて抽出して聞く方法もあると思う。貴重な意見。回収率は前回より上がっており、郵送で送って郵送で返してもらう調査で、50%を超える回収率は高い。答えた人にプレゼントなどはあったのか。

○事務局

回答者へのプレゼントなどは行っていない。

○大西委員長

最近、研究の分野でもインターネットを使ったアンケートを行うことがある。例えばペイペイ

などで 300 ポイントつけると回収率が上がる。

○染原委員

前回の調査のタイミングは今回と同じ時期か。

○事務局

タイミングは同じくらい。

○笠委員

アンケートを受けることがあるが、QRコードがあれば返しやすい。郵便ポストは減っており、郵便物を出す機会も減っている。

○染原委員

アンケートは見やすい。回収率が上がったということは、興味を持っている保護者がいるのでは。QRコードをつけたらもっと上がるのでは。次回は検討してほしい。

○大西委員長

市でいろんなアンケートをするときは、ウェブでの回答はしているのか。

○事務局

第7次総合計画はどちらでもしている。

○鳥谷委員

紙媒体より、ウェブの方がまとめるのが楽では。

○渡邊委員

ウェブなら集計は自動的にできる。

○鳥谷委員

ミスも減ってくる。費用を削ってポイントに充てると、ウィンウィンになる。回収率もより上がる。

○渡邊委員

興味があるのが、小学生1年生から6年生のスマートフォンやタブレットの使用状況。子どもが1日何時間使っているのか、把握していない家庭は多い。現状と乖離している可能性もある。ウェブで子どもに聞くと、3時間以上とか5時間以上とか、ぞっとする結果が返ってくる。このアンケートでは高校生は自分で答えることになっている。

○事務局

親と一緒に答えることにしている。

○事務局

来年度に詳細なアンケート結果の報告をする。

○大西委員長

電子機器の使用状況について興味がある。小学生対象のアンケートに TikTok などの投稿動画視聴時間を聞く質問があるが、TikTok は使用推奨年齢を 13 歳以上としていて小学生は推奨されていない。

○渡邊委員

学校で教えても守られない。「家族とのやり取りなら LINE を使っていていいか」と聞かれることもある。

○大西委員長

低年齢化して、むしろ親や友達とのコミュニケーションツールになっている面もある。

○渡邊委員

これからの子育てで、SNS やインターネットは食と同じくらい大事な問題。心身が壊れてしまう子どもが世界中にいる。ネット依存になって学校に来られない子どもの親と面談するが、「アメリカでは子どもの心身が壊れたので、Meta や Google 相手に親が訴訟を起こしている」という話をして、日本では知られていない。

○大西委員長

この結果が計画策定において非常に重要になってくる。議題の1については、了承でいいか。⇒了承

## 2) 小規模保育事業所の認可・確認について

### ○事務局

資料④「小規模保育事業所の認可・確認について」に沿って説明。

4月1日開設予定の小規模保育事業所「のどか保育園」の概要を説明する。本市においては待機児童発生が続いており、令和4年度 31名、5年度 16名で、縮小したものの解消には至っていない。待機児童を解消すべく、4年度は 150名定員の保育所、5年度は 19名定員の 2か所を開設した。今後は6年度に 19名定員の小規模保育事業所1か所、7年度には 150名定員の認可保育所を予定している。今回の運営事業所は、筑紫ガス株式会社。のどか保育園は昨年9月から認可外保育所として運営を開始している。6年4月1日から市の認可を受けた保育所として再スタートする。

### ○花園委員

認可となると、園長や主任などの役職はどうなるのか。

### ○事務局

施設長の園長も配置されている。人的な配置や面積要件は定められており、現地調査して確認している。

### ○花園委員

給食は必ず施設内で作る必要はなく、委託して運んでもらうことも可能だが、0歳児がいるので心配している。

### ○事務局

外部委託することも可能だが、のどか保育園は自園調理で、調理士や管理栄養士も配置されている。

### ○渡邊委員

午後3時から4時半に見に行ったとのことだが、暗く感じる。窓はどれくらいか。

### ○事務局

調査当日は雨が降っていた。窓はあるが、お昼寝の時間だったので、閉まっていた。

○渡邊委員

(スマートフォンで検索した画面を見ながら)もともとの建物は広い壁に窓が1つしかないようだ。日光は必要では。

○事務局

四方が部屋に囲まれた部屋もあるが、外壁に面していれば、窓はある。

○渡邊委員

明るさは大丈夫か。

○事務局

自動で部屋の明るさが変わるシステムだった。

○花園委員

私の園は窓が多すぎて困っている。明るいのはいいが、特に夏は暑くて大変だ。

○笠委員

施設が増えているが、保育士の確保はできているのか。

○事務局

運営事業者が決められた人数は配置するという約束をしている。

○笠委員

受け皿ばかりつくっても保育士が足りなければ、子どもが入れない状況になる。

○大西委員長

保育士は確保されるということだ。小規模保育所についても、了承するということがいいか。

⇒了承

○大西委員長

今日の議題は以上。答申案に関しては、会議での意見を集約して、提出する。

## 5. その他

### ○樂滿委員

任期は5月 31 日までだが、次の人には年2回の会議への出席が主な仕事と伝えていいか。

### ○事務局

計画策定のため会議の回数は増えることになる。3月下旬頃に委員の改選に係る推薦依頼を送付するので、ご対応をお願いしたい。

## 6. 閉会